

世界が認めるカムシャフトを製作 モータースポーツ用パワーユニット部品で大きなシェア獲得

自動車パワーユニット部品、特にモータースポーツで使用するパワーユニット部品や、次世代自動車のパワーユニット部品試作を主業務としている。海外ではF1・ルマン24Hレース・ナスカー等、国内ではスーパーフォーミュラ・スーパーGT・F3等、各カテゴリーのレースで当社の部品が使用されている。

自動車用精密部品試作で培われた技術と生産体制を駆使して2008年より医療機器(医療用ステント)の研究開発を開始。海外製のステントよりも高品質であると評価を得ている。

● 所在地 東京都品川区南大井4-10-2
● 電話/FAX 03-3762-5591 / 03-3766-6731
● URL <http://tamachi.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 米内 淨

● 設立 1962年
● 資本金 2,000万円
● 従業員数 122人



生産性向上

高品質にこだわった加工製品の提供

高品質の加工製品を提供するために、設備・人材・社内ルール等、全てに関して「加工50:検査50」の割合で投資を行う。これにより、一般の工場に比べて検査機器の割合が多くなっている。顧客が希望する納期と品質を高レベルで維持するため、加工の途中段階でも細かく検査を行うという、加工手順に関する指標を策定している。緻密な検討を重ねた生産準備で定められた工程毎に検査を行い、大幅な手戻りの発生を防ぎ、材料コストのムダ、時間のムダを最小限にとどめて最高品質の加工製品を最短の納期で納入している。



製品検査

タマチ方式5原則の制定

同社は「どんなに素晴らしい設備でも、それを操る人間の慣習がしっかりしていなければ、ミスが発生する」という考えから、従業員に対してミスを未然に防ぐための心構え「タマチ方式5原則」を制定。①数値のメモと入力はノートを利用、声出し・指差し呼称で確認。②作業前、作業後のワークを図面とよく見比べて、不具合を気付ける感性。③各種帳票類を正しく活用し、確かな品質をつくり込む。④考察し、正しく理解した上で、行動する。⑤おかしいと感じたときに、上司への報連相を徹底。

- 【原則 1】 数値のメモと入力は記憶に頼らず、必ずノートを使用し、声出し、指差し呼称で確認しよう。
- 【原則 2】 作業前、作業後のワークを図面とよく見比べて、不具合を不具合として気付ける感性を持とう。
- 【原則 3】 各種帳票類を正しく活用し、確かな品質をつくり込む生産工程を目指そう。
- 【原則 4】 勝手な解釈をせず、よく考えた上で確認し、正しく理解した上で行動しよう。
- 【原則 5】 少しでもおかしいと感じた時に、大きな問題が隠れている。放置せず、上司への報連相や GM を通じて解決しよう。

タマチ方式5原則によりミスを未然に防ぐ

高度な製造技術の新分野への展開

単なる技術屋として加工を行うだけでなく、設計段階から携わることでトータルプランニングを実施する体制を整えた。モータースポーツ次世代向け開発の心臓部分となるパワーユニット部品(カムシャフト、シリンダーヘッド、吸排気部品、電動化を支える冷却系部品等)の加工には、高度な製造技術が必要となる。医療用ステントではミクロン単位の加工が求められる中、エンジン部品加工の技術を活かしている。また、2016年に導入した大型造形・トポロジー最適を可能とする金属積層は各展示会で注目を集めている。



高度な製造技術

ものづくり